



令和3年7月6日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

7月4日(日)午後2時頃、海上自衛隊は、沖縄本島の南東約150kmの海域において、同海域を北西進するロシア海軍スラバ級ミサイル巡洋艦1隻、ウダロイI級駆逐艦2隻、ステレグシチー級フリゲート3隻及びマルシャル・ネデリン級ミサイル観測支援艦1隻の合計7隻を確認した。

その後、これらの艦艇が沖縄本島と宮古島の間の海域を北上した後、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇のうち、スラバ級ミサイル巡洋艦1隻、ウダロイI級駆逐艦1隻及びステレグシチー級フリゲート2隻の合計4隻は、5月6日(木)に対馬海峡を南下したものと同一である。また、ウダロイI級駆逐艦1隻は、5月16日(日)に宗谷海峡を東進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第5航空群所属「P-3C」(那覇)、第1航空群所属「P-1」(鹿屋)、第46掃海隊所属「ししじま」(沖縄)、第2掃海隊所属「ひらしま」(佐世保)及び第3ミサイル艇隊所属「しらたか」(佐世保)により、所要の情報収集・警戒監視を行った。

スラバ級ミサイル巡洋艦(011)



ウダロイ I 級駆逐艦(543)



ウダロイ I 級駆逐艦(548)



ステレグシチー級フリゲート(333)



ステレグシチー級フリゲート(335)



ステレグシチー級フリゲート(339)



マルシャル・ネデリン級ミサイル観測支援艦(331)

